

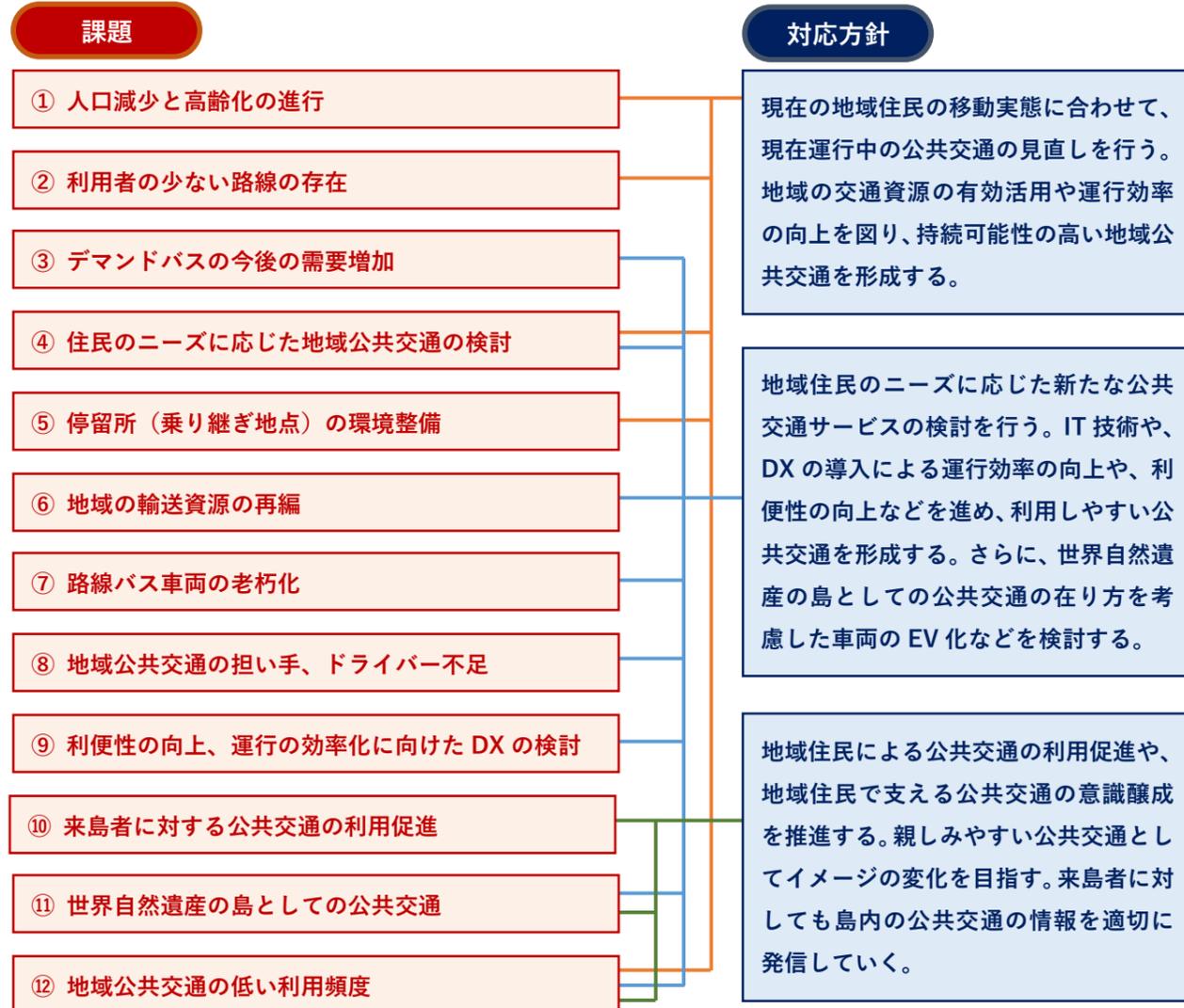
徳之島地域公共交通計画（概要版）

1 計画策定の背景・目的

徳之島地域の人口は昭和30年の50,932人をピークに減少し、令和2年には21,803人となった。公共交通利用者の減少や運転手不足により、公共交通の維持は容易ではなくなっている。高齢者や公共交通機関の空白地域などでの交通手段の確保は、今後さらに深刻な問題となっていくことが予想される。一方で、地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光、健康、福祉、教育、環境等のさまざまな分野で大きな効果をもたらす。こうした状況を踏まえ、徳之島の交通政策に関わる課題の解決に向け、地域公共交通のマスタープランとなる「徳之島地域公共交通計画」を策定し、持続可能な運送サービスの提供に取り組むことを目指す。



2 徳之島の地域公共交通が抱える課題と対応方針



3 計画の基本理念と基本方針

徳之島町、天城町、伊仙町の関連する各種計画や島内で抱えるさまざまな移動の課題、公共交通の役割等を踏まえ、徳之島における公共交通に関する基本理念と基本方針を次のとおりとする。

基本理念

みんなで支え安心して利用できる移動の架け橋

基本方針Ⅰ 移動実態と住民ニーズに合わせた公共交通の構築

利用者数の少ない路線バスの運行路線の見直しを行うとともに、住民ニーズや現在の住民の移動実態に合わせて、公共交通の改善を検討、構築する事により **利便性の向上及び効率の良い公共交通を形成する。**

基本方針Ⅱ 効率的な公共交通と利便性のステップアップ

新たな公共交通サービスの検討を進めるとともに、島内の路線網における接続や、島外からの移動との接続を整理し、**効率的かつ利便性の高い公共交通**を目指す。また、**デジタル技術等の活用**も検討し、運行の効率化や利便性の向上を進める。

基本方針Ⅲ 地域で支える公共交通と利用の促進

持続可能な公共交通を目指すため、地域住民の理解や協力が必要であるという **地域で支える公共交通の意識醸成**を推進するとともに、地域の住民にとって **身近な親しみやすい公共交通**を目指す。また、**来島者へも適切な情報発信**等を行い、分かりやすく利用しやすい公共交通を目指す。

4 計画の区域と期間

本計画の区域は、「徳之島全域」、本計画の期間は「令和7年度から令和11年度までの5年間」とする。

5 計画の目標

本計画の3つの基本方針を踏まえ、計画の目標を以下のとおり設定する。

基本方針	目標	目標値	現況値	
基本方針Ⅰ	路線バス利用者数の増加	70,000人/年	56,150人/年（令和5年度）	
	停留所（乗り継ぎ地点）の整備	5箇所	—	
基本方針Ⅱ	新たなサービス導入後の利用者の満足度	80%以上	—	
	路線バス収支率の改善	現況値以上	1号線	31.54%
			2号線	3.11%
			3号線	13.06%
4号線			71.71%	
行政による財政負担改善	28,000千円以下	31,493千円（令和5年度）		
基本方針Ⅲ	公共交通を利用したことがある住民の割合	20.00%	13.7%（住民アンケート）	
	公共交通に対する理解度の向上（公共交通に関する各種認知度）	30.00%	—	

6 目標を達成するための事業と取組

本計画の目標を達成するための事業と取組を以下にまとめた。

基本方針Ⅰ 移動実態と住民ニーズに合わせた公共交通の構築

事業1 路線バスの路線見直し

運行中の路線バスの各路線について、利用状況に応じて路線の見直しを行う。現在の住民の利用ニーズをもとに、地域における移動資源の効率的な活用を目指し、路線のルートの変更、短縮、廃止等も含めた見直しを行う。路線の見直しにおいて、現在利用している住民へ影響が出る路線については、「デマンドバス」等の代替となる新たな移動手段の導入の検討も並行して進める。

事業2 路線バス 運行ダイヤの見直し

路線バスについて運行ダイヤの見直しを行い、住民の移動需要に合ったダイヤの検討を行う。交通結節点における他の交通モードとのスムーズな接続や運行ダイヤの見直しによる利便性の向上を目指す。

事業3 路線バス 停留所（乗り継ぎ地点）の整備

路線バスの停留所についての住民のニーズに合わせて停留所の整備の検討を行う。待合環境を改善し、利用者の負担軽減を行う。分かりやすい地域公共交通の情報（時刻表、乗り換えの案内等）を掲載し地域公共交通の利用のしやすさ向上を目指す。



基本方針Ⅱ 効率的な公共交通と利便性のステップアップ

事業4 徳之島町 デマンドバス活用と自家用有償旅客運送導入の検討

徳之島町で運行中のデマンドバスについての情報提供や利用促進の取組を進めるとともに、近い将来危惧される地域公共交通のドライバー不足（担い手不足）に対する対応を検討するため、デマンドバスの運行の最適化や、自家用有償旅客運送の導入の検討を行う。



事業5 天城町 デマンドバス活用と自家用有償旅客運送導入の検討

天城町で運行中のデマンドバスにおいては、高い増加率で利用人数、運行回数ともに増えている状況にある。地域住民に対して、情報提供や利用促進の取組を進めるとともに、近い将来危惧される地域公共交通のドライバー不足（担い手不足）に対する対応を検討するため、デマンドバスの運行の最適化や、自家用有償旅客運送の導入の検討を行う。



事業6 伊仙町 地域コミュニティバスの見直し及び自家用有償旅客運送導入の検討

伊仙町で無料の運行（一部路線は徳之島町、天城町まで運行）を行っている地域コミュニティバスの在り方について見直しを行うとともに、現在の住民ニーズ等への対応を目的に自家用有償旅客運送の導入検討を行う。自家用有償旅客運送の導入においては、地域住民からの運賃負担による協力も検討し地域で支える公共交通を目指す。



事業7 公共交通におけるDX推進の検討

公共交通の運行の効率化や利便性の向上を図るため、自動運転、MaaS、GTFS-JP データ整備、バスロケーションシステム、キャッシュレス決済等の導入検討を進め、島内の公共交通におけるDXの推進を進める。

事業8 路線バス老朽化車両の更新

運行中の路線バス5台中4台が車齢20年以上経過しており、故障等の増加によって安定的な運行が困難な状況となっている。安定的な運行と乗客の車内における快適性の向上を目指し、老朽化の進んでいる車両の更新について取り組む。



基本方針Ⅲ 地域で支える公共交通と利用の促進

事業9 地域住民へのモビリティ・マネジメントの実施

地域住民の公共交通への認識と理解を深めてもらう取組を進める。日常生活での活用や将来持続すべき生活インフラとしての重要性の理解促進を目指す。



事業10 地域の中高生を対象とした地域公共交通の意識醸成

徳之島の将来を担う地域の中高生を対象に、地域公共交通に対する理解を深める課外授業やイベントを実施する。地域が抱える移動の課題や公共交通を維持していくことについての重要性を知る機会を提供する。

事業11 公共交通の親しみやすさ・イメージの向上に向けた取り組み

公共交通の親しみやすさやイメージの向上を目指し、公共交通の車体のデコレーションやラッピングを行う。地域の小学生等によるデザインのラッピングや、徳之島の特色や観光資源をアピールするラッピングデザインを施し、公共交通のイメージ向上と利用促進を目指す。



事業12 グリーンスローモビリティ・マイクロモビリティの検討

徳之島空港や亀徳新港、平土野港、観光拠点等の周辺を周遊するためのグリーンスローモビリティ・マイクロモビリティの検討を行う。交通結節点や観光施設等からの移動の活性化を図るとともに、環境負荷の低減による持続可能な域内移動の新たな交通モードの構築を目指す。

事業13 来島者へアプローチした効果的な情報発信

徳之島空港や亀徳新港、平土野港、観光施設、宿泊施設等、来訪者が多く訪れる施設等と連携し、公共交通に関する分かりやすい情報の発信を行う。公共交通を利用した具体的な移動経路や目的地別の移動時間等が分かるバスマップのような掲示物を設置し、来島者が利用をイメージしやすい情報の発信を行う。